# 重大事故対策 - 大規模災害時に計画通り要員が参集出来ない場合への備え -



ワーキングの詳細 はこちらから

### 論点No.115

大規模な自然災害などにより事故対応に 必要な要員が参集できなかった場合の対 策はとられているのか。



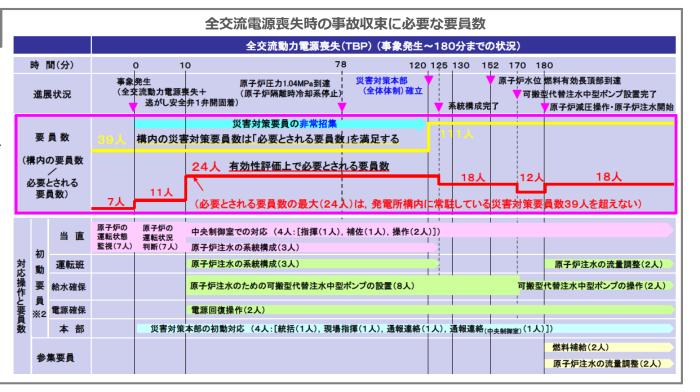
## ワーキングチーム検証結果

必要な事故対応要員は2時間以内に参集 できる体制をとっているが、自然災害な どにより要員が参集できない場合でも、 発電所に常駐する初動対応要員により優 先順位をつけて対応することを確認。

#### ワーキングチーム検証結果(抜粋)

#### ○災害対策本部の要員数の想定

- 初動対応に最も多くの要員を必要とする事故想定 (全交流電源喪失)における必要人数24人に対し、 初動対応の要員39人を発電所構内に常駐
- 初動対応要員以外のものは、非常招集により参集し、 災害対策本部の体制は39人から111人に移行
- 参集要員に期待する操作は、最も早いもので3時間 後以降であるのに対し、参集要員は2時間以内に参 集可能な体制を確保
- 参集要員のうち、保修班員など**特定の力量を有する ものは、発電所近傍の社員寮などに待機**。
- 要員の参集ルートは地震及び津波の影響を考慮して 設定し、構内への進入ルートも複数確保
- 上記の体制としてもなお参集できない不測の事態には、対応操作の優先順位を判断し、初動対応要員を 充てて対応する。



### 全交流電源喪失時の事故収束に必要な要員数(拡大)

